

「よくわかる老年腫瘍学（仮）」

企画書

発行：金原出版株式会社

【書名】 よくわかる老年腫瘍学（仮）

【編集】 一般社団法人 日本がんサポーターティブケア学会（JASCC）

【作成】 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

「高齢者がん診療ガイドライン策定とその普及のための研究」班

【編集委員】 [敬称略]

田村和夫（監修），唐澤久美子（委員長），杉本 研（副委員長），

石黒 洋，海堀昌樹，重本和宏，中山健夫，吉田好雄

【出版の経緯】

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「高齢者がん診療ガイドライン策定とその普及のための研究」班が作成し，その成果物であるテキストブックを JASCC が引用する形で出版します。JASCC 教育委員会の企画案検討から査読までの協力を得て，協働で作成します。

【本書のねらい】

厚生労働省科学研究 がん対策推進総合研究事業「高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究」（2018～2020 年度，研究代表：田村和夫）が過去 3 年間にわたり実施した事業の結果，診療指針策定にあたり基盤となる学問としての老年腫瘍学のテキストブックの必要性が浮き彫りになりました。

本テキストを参照することにより，以下の項目を理解できるようになることが本書のねらいです。

- ・加齢による分子・細胞，臓器の変化
- ・加齢に伴う心身・社会・経済的な問題
- ・高齢者がんならびにがん患者の病態生理（含）カケキシー
- ・適切な併存症・合併症治療（含）リハビリテーション，栄養療法
- ・がんの予防，診断，治療（治療選択，治療の止め時）
（含）Clinical outcome（がん治療の目標）の設定
- ・必要に応じて関連するがん専門医や包括ケアセンター（介護・福祉サービス）を紹介できる
- ・医療経済（費用対効果，quality adjusted life year[QALY]）
- ・終末期医療（quality of death，良い死に方，ACP）

【執筆項目・執筆者】

別紙の目次をご参照ください。

【読者対象】

研修医，一般医を主な対象とします。

医学部，看護系，薬学系の教員が学生教育において参照できる内容とします。

また，メディカルスタッフも参照できる内容とします。

【体 裁】 B5判，300頁程度，2色（予定）

【脱稿期日】 2022年2月25日（金）

[分担執筆ですので，何卒ご協力をお願い申し上げます]

【刊行予定】 2022年11月

【ご執筆にあたってのお願い】

1. 理解が深まるよう，視覚的に訴える図表を豊富にご使用ください。
2. 適宜，見出しや箇条書きを入れ，読みやすいレイアウトにご協力ください。
執筆見本もあわせてご覧ください。

【記載上のルールなど】

1. 見出しの順序：1 A 1) a) (1) ① 以下は見出しのみゴシックとします。
2. 文体は「・・・である」調とし，原則として常用漢字，新仮名遣いとしますが，専門用語などはこの限りではありません。
3. 本文各項目に「はじめに」「おわりに」を記載いただく必要はありません。
4. ご依頼の原稿分量（原稿文字数）には，図・表・文献を含めます。図・表はおおよその大きさに応じて，小さいものは400字（出来上がり1/4頁相当），大きいものは800字（出来上がり1/2頁相当）とし，文献は1文献あたり60字と換算します。
5. お原稿は，デジタルデータにて，メール添付またはオンラインストレージ等でお送りください（メール添付の場合は80MB以内としてください）。メール送信が難しい場合は，CD-Rや返信用封筒を送付いたしますので，必要に応じて出版社にご連絡ください。
6. 本文中の用語に欧文を併記する場合は，カッコ()でくくってください。
7. 見出しならびに表題の欧文はすべて大文字開始としますが，文中では固有名詞以外は小文字で開始してください。また，ラテン語学名はイタリック体としますので，イタリック表記もしくは下線を引いてください。（例：*Helicobacter pylori*）
8. 外国人名は原則として原語で記載します。ただし，慣用のものはカタカナでも結構です。
9. 数字は算用数字，単位はSI（国際単位系）を使用，年号は西暦を原則とします。ml，dl，lなどは，

日本薬局方にならない、mL, dL, Lと表記します。

10. 医学上、広く慣用される abbreviation (例: GOT, BSP など) 以外は極力略語を使用しないようお願いいたします。略語を使用する場合は、最初に必ずフルスペルを入れてください。

11. 図・表について

- A) 図・表はできるだけ自作のものを使用し、他から転載する場合は、必ず著者の承諾を得たうえで、かつ出典を明記してください。引用の場合も、出典は必ず明記してください。
- B) 洋書から引用した表などは、できるだけ日本語に翻訳してください。
- C) 図・表の挿入箇所を本文中にご記載ください。
- D) シェーマは出版社でトレースしますので、鉛筆画でも結構です。
- E) 図・表には必ずタイトルと説明を付けてください。
- F) 写真はデジタルデータでお送りください。できるだけ解像度の高いもの (word やパワーポイントに貼り付ける前の TIFF や JPEG) をご提出ください。
- G) カラー写真の掲載かモノクロ変換かの判断は編集者において検討させていただきます。原図がカラーのものはそのままお送りください。

12. 文献について

A) 文献のまとめ方

本文中に引用した箇所の右肩に、出所順に 1)2) のように番号を付し、本文末に、引用順に一括してご記載ください。

B) 文献記載方法

原則として、表記法はバンクーバースタイル (論文での出典の示し方で、参考文献と本文を引用順の文献番号で関連付け、参考文献の列挙を引用順に行うもの) に準じ、下記のように統一した書き方としてください。著者名は3名まで (3名, et al. または3名,他.) の記載とします。

誌名の略記は、本邦のものは日本医学図書協会編: 日本医学雑誌略名表により、外国のものは Index Medicus 所載の省略法などに準拠してください (欧文文献は略語のあとのピリオドが省略された形になります。また、論文表題は文頭文字以外を小文字としてください)。

<雑誌> 著者名.論文名-副題-.略誌名.西暦発行年; 巻数: 起始頁-終頁.

<書籍> 著者名.書名.版数.発行地: 発行所名; 西暦発行年.引用頁.

<電子版> 著者名.論文名.誌名.西暦発行年; 巻数: 起始頁-終頁.URL. 閲覧日 (年月日の順)